

平成25年度

予算特集号

教育



市民が主役の
まちづくり

福祉



環境



若者に選ばれる
まちづくり



古河市

平成25年度 古河市予算について

平成17年9月に合併した古河市は、間もなく誕生10周年を迎えようとしています。わたくしは昨年12月の選挙結果により市長となり、このような節目での市長就任に大変重い責務を感じています。

これからの古河市の健全な発展には「市民が主役のまちづくり」、「若者に選ばれるまちづくり」が重要であると考えます。

このようなまちづくりを実現するためには、都市基盤等のハード面の整備はもちろんのこと、教育・福祉等のソフト施策の充実も必要不可欠です。

特に、若者に選ばれるまちづくりにおいては、「魅力ある子育て支援」や「充実した教育」施策が第一であります。これにより、若者の古河市への移住、定住が促進され、市の経済も大きく活性化し、「安心して老いられるまちづくり」の実現にもつながるものと考えます。これらのことを踏まえ、平成25年度の予算はメリハリのついた編成を行いました。

本予算特集号では、平成25年度の主要な実施事業や予算の概要、市の財政状況等を市民の皆様にはわかりやすくお示いたします。



古河市長 菅谷 憲一郎

平成25年5月

平成25年度予算総額 762億4480万円

(参考：平成24年度当初予算総額 774億1560万円)

一般会計 444億6000万円

特別会計 317億8480万円

歳入

・市内企業収益の改善や新築家屋の増加等の影響により、市税全体において若干の増加を見込み、市債は合併特例債対象事業の完了等により大幅に減少するものとしています。

歳出

・引き続き扶助費や公債費等の義務的経費が増加するものの、合併特例債を活用した投資的事業(筑西幹線道路整備や道の駅整備等)の完了等により、その歳出予算が大幅に減少しています。

平成25年度予算 主要施策

教育文化 [健やかな市民と文化を育む“人”づくり]

- 学校施設の耐震化
- 学習環境等の向上
- 教育活動指導員の派遣(ティームティーチング)
- トップアスリートの育成支援 等



福祉健康 [互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり]

- 子育て環境の充実
- 地域の子育て支援
- 児童クラブ施設の充実
- 高齢者シルバーカー購入費助成 等



生活環境 [自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり]

- 安全安心な水の供給
- 住宅・建築物耐震改修の促進
- ごみ収集サービスの向上
- 電気自動車の導入 等



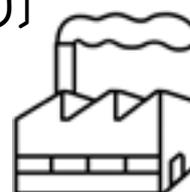
都市基盤 [みらいを見据えた都市の“基盤”づくり]

- 新4号国道アクセス道路の整備
- 筑西幹線道路の整備
- 生活道路等の充実 等



産業労働 [活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり]

- 企業立地の支援
- 道の駅「まくらがの里こが」のオープン
- 地域農業担い手の育成 等



コミュニティ・行政 [市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり]

- コミュニティ活動の育成・強化
- 地域づくり活動の支援
- 安全安心な庁舎の管理 等



主要施策の概要

教育文化

健やかな市民と文化を育む“人”づくり

(1) 学校施設の耐震化

3,605 万円

教育総務課

下大野・駒羽根・西牛谷・水海・大和田小学校の耐震補強工事の実施設計を行います。これにより、市内小中学校全ての実施設計が完了します。



・小堤小学校(耐震補強工事例)

(2) 小学校の改築

52,908 万円

教育総務課

○古河第一小学校 18,580 万円

これまでに引き続き、仮設校舎建設、既存校舎の一部解体および校舎改築工事等を実施します。(平成 27 年度完成予定)

- ・校舎:鉄筋コンクリート造 地上 2 階建 4,963 m²
- ・屋内運動場:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 1,126 m²



・古河第一小学校 外観予定図

○古河第六小学校 33,982 万円

屋内運動場の改築工事および外構工事を実施します。

- ・校舎:鉄筋コンクリート造 地上 3 階建 5,667.22 m²
- ・屋内運動場:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 1,216.92 m²



・古河第六小学校 新校舎
(平成 24 年 8 月竣工)

○古河第二小学校 346 万円

安全安心な教育環境を整備するため、改築対象建物となっている屋内運動場の耐力度調査を実施します。

(3) 学習環境等の向上〔新規〕

2,134 万円

教育総務課

小中学校教室へのクーラー設置に向けた調査を実施します。また、全小学校校庭の散水設備の設置に向けた調査も、あわせて実施します。



・快適な学習環境を目指して

(4)教育活動指導員の派遣(チームティーチング)

3,478 万円

指導課

これまでに引き続き、各小学校に1名ずつ教育活動指導員を派遣するとともに、中学校への派遣等を検討します。



・チームティーチングによる授業風景

(5)小学校教育ICTモデル事業〔新規〕

219 万円

教育総務課

市内の小学校からモデル校を1校選定し、タブレット型端末等の最新の教育ICT(情報通信技術)機器を導入し、様々なスタイルの授業を試行的に実施します。



・タブレット型端末を使用した授業風景

(6)特色ある学校づくり

1,000 万円

指導課

児童生徒の学力向上に寄与する積極的な取り組みや自然科学の研究に関する取り組みなど、小中学校における特色のある学校づくりに対して補助金を交付します。

(7)通学路の整備〔新規〕

2,645 万円

道路課・交通防犯課

通学路安全点検により問題の指摘があった箇所への歩道整備等に取り組み、安全安心な通学路の環境整備を図ります。

(8)トップアスリートの育成支援〔新規〕

200 万円

スポーツ振興課

全国大会上位入賞等の成績を上げた市内のアスリート(競技者)に対し、継続的な育成環境を提供します。また、指導者講習会の開催に対して補助を行う等の支援をします。



福祉健康

互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり



(1) 子育て環境の充実〔新規〕

300 万円

子育て支援課

現在、ファミリー・サポート・センターで実施している相互支援サービスに加えて、新たに保育ママ事業を実施します。保育ママ(協力会員)が乳幼児を預かり、空き店舗などを活用したミニ児童館において子育てをサポートします。

(2) 地域の子育て支援

1,286 万円

古河第4保育所

新たに古河第4保育所に地域子育て支援センターを設置し、子育ての相談や支援情報の提供を行うとともに、併せて一時預かり保育も実施します。



(3) 児童クラブ施設の充実

8,598 万円

子育て支援課

古河第一小学校と古河第六小学校に専用施設を建設するとともに、古河第二小学校における施設の実施設計を行います。

(4) 妊産婦への医療費助成の実施〔拡充〕

13,628 万円(拡充分 361 万円)

国保年金課

これまでに引き続き、小中学生までに対する古河市独自の医療費助成(マル古)を行うとともに、新たに県のマル福で対象とならない妊産婦に対しても医療費を助成します。



(5) 保育環境の充実

7,287 万円

子育て支援課

民間施設で実施している0・1・2保育ルームへの支援を行うとともに、保育士の十分な配置等を行うことで、待機児童を発生させないなど保育環境の充実に努めます。



(6) 子どもの発達支援〔拡充〕

1,327 万円(拡充分 274 万円)

健康づくり課

これまで古河福祉の森会館で行ってきた、障がい児や発達に遅れや偏りが認められる子どもへの発達支援を、新たに健康の駅(総和福祉センター)においても実施します。



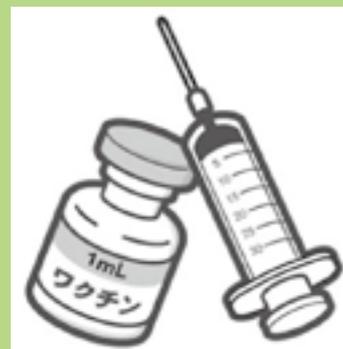
・高齢者から親しまれるシルバーカー

(7) 高齢者シルバーカー購入費助成〔拡充〕

1,430 万円(拡充分 100 万円)

高齢福祉課

現行の通院等助成事業に加え、新たに 70 歳以上の歩行が不安な方を対象に、シルバーカー購入費用の一部を助成します。



(8) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種への助成〔新規〕

1,827 万円

健康づくり課

高齢者の肺炎球菌感染を予防するため、原則として 70 歳以上の方を対象に、肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を助成します。

(9) 「功労感謝の会」への支援

1,450 万円

自治振興課

地域の高齢者(当該年度末で 70 歳以上)と地域住民が一堂に会して交流する「功労感謝の会」事業に対し、引き続き補助金を交付します。



・地域の「功労感謝の会」

生活環境

自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり



・三和浄水場



・地震で倒壊した建物



・市内の平地林整備

(1)安全安心な水の供給

7,610 万円

水道課

安全安心な水道水を使用していただくため、水道普及率の低い三和地区に優先的に配水管布設工事を行うとともに、水道普及率を向上させる施策を積極的に推進します。

(2)住宅・建築物耐震改修の促進〔拡充〕

740 万円(拡充分 600 万円)

建築指導課

木造住宅の耐震診断や耐震改修の訪問相談を行うとともに、新たに耐震改修費用の一部を助成します。

(3)ごみ収集サービスの向上〔拡充〕

40,866 万円

環境課

これまで可燃ごみとして焼却処分されていた「古着類」について、全地区で分別収集を実施するとともに、現行のごみ収集サービスについては見直し、効率化を図ります。

(4)環境保全学習の推進

108 万円

環境課

自然環境への興味や関心を高めるための「自然観察会」を広く市民向けに実施します。

(5)平地林の保全

1,248 万円

農政課

県の森林湖沼環境税を活用し、市内の荒廃した平地林や里山林を対象に間伐、下草刈り、伐竹などの整備を行います。

(6) 消防施設の整備

4,481 万円

消防保安課

消防水利確保のための防火水槽の設置や、計画的な消防ポンプ自動車の更新を行うなど、消防活動に必要な資機材等の整備を行います。



・消防ポンプ自動車

(7) 消防団活動への支援

10,537 万円

消防保安課

消防団員の活動しやすい環境づくりに努めることにより、地域の防災力を維持し、住民の安全安心を守ります。



・古河市消防ポンプ操法競技大会

(8) 防犯灯設備の充実

7,567 万円

交通防犯課

LED防犯灯の設置および修繕を行い、夜道の暗がりを解消することにより、犯罪や事故の未然防止を図り、市民の安全安心の向上に努めます。

(9) 災害に備えた取組み〔拡充〕

923 万円(拡充分 141 万円)

危機管理課

自治会・行政区や自主防災組織等へ広く防災講座を実施するとともに、避難所等への備蓄品等の整備を進めます。

また、新たに災害時要援護者システムの構築や防災士の資格取得費用の一部助成を実施します。



・自主防災会(出前講座)

(10) 電気自動車の導入〔新規〕

777 万円

管財課

温室効果ガス排出量の削減を目指すため、公用車として電気自動車を導入します。



都市基盤

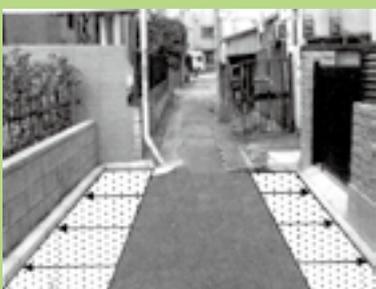
みらいを見据えた都市の“基盤”づくり



・筑西幹線道路
(平成 25 年 3 月開通)



・生活道路の新設舗装



・道路後退部分(セットバック)の
整備推進



・市内循環バス ぐるりん号

(1)新4号国道アクセス道路の整備

9,973 万円

都市計画課

平成 27 年度開通を目標に、野木町と共同で三和地区北部から野木駅までの直通道路を整備します。平成 25 年度は用地取得および一部区間の工事を行います。

(2)筑西幹線道路の整備

43,161 万円

都市計画課

平成 24 年度に開通した筑西幹線道路の一部の歩道や側道、案内標識等を整備します。また、新 4 号国道西側への延伸に向け、各種測量や地質調査、詳細設計等を行います。

(3)生活道路等の充実

90,938 万円(拡充分 800 万円)

道路課

地域自治行政区から要望されている未改良の生活道路等の整備を進めるとともに、生活道路の舗装および道路構造物(側溝など)の整備や維持管理を図ります。また、4m未満の市道において道路後退部分の整備を推進します。

(4)デマンド交通・ぐるりん号の運行

7,942 万円

総務課

総和・三和地区の市民を対象とするデマンド交通「愛・あい号」および古河地区を循環する「ぐるりん号」を運行します。

(5)市内直通横断バスの試行運行

643 万円

総務課

三和庁舎と古河駅を結ぶ市内直通横断バスの試行運転を平成 25 年度まで実施します。平成 26 年度以降については試行運転の実績を踏まえ検討します。

産業労働

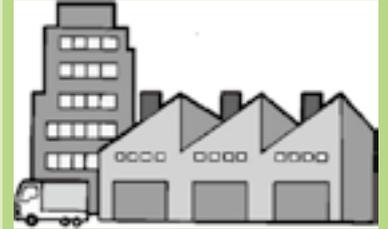
活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり

(1) 企業立地の支援

7,870 万円

名崎工業団地推進室

指定地域に進出する企業に対して「企業立地促進奨励金」を交付することにより、企業立地を支援します。



(2) 道の駅「まくらがの里こが」のオープン

321 万円

企画課(道の駅推進室)

平成 25 年 7 月にオープンを予定している道の駅「まくらがの里こが」のオープニングセレモニーを実施します。



・道の駅 まくらがの里こが

(3) 地域農業担い手の育成〔拡充〕

658 万円(拡充分 450 万円)

農政課

新規就農を目指す方や農業技術の向上を目指す農業者に研修費用を助成するとともに、あらたに新規就農者に対して青年就農給付金を給付します。



(4) 銘柄産地育成への支援

240 万円

農政課

農協、生産者団体と協力しながら市場調査、消費宣伝活動などを行い、産地体制の確立を図ります。

- ・銘柄産地品目：カボチャ、バラ、にんじん
- ・銘柄推進産地品目：ブロッコリー、サニーレタス、ニガウリ



・銘柄産地品のPR

(5) 観光イベントの充実

4,887 万円

観光振興課

祭り・イベントなど年間を通して開催することにより、より一層の市内商工業の活性化および観光の振興を図ります。



・古河桃まつり

コミュニティ・行政

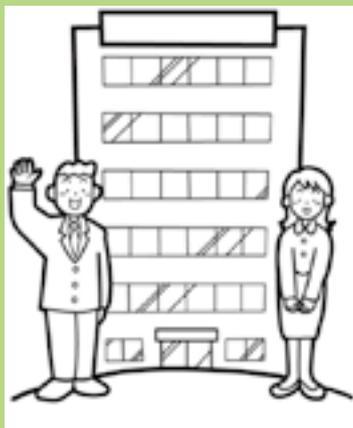
市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり



・地区コミュニティの活発な活動



・市民主体の地域活動



(1) コミュニティ活動の育成・強化

1,567 万円

自治振興課

地区コミュニティへ財政的な支援を行います。また、地区コミュニティの未設立地区には、設立にむけた支援等を行います。

(2) 地域づくり活動の支援

15,317 万円

自治振興課

市民が主体となった住民自治のまちづくりの推進に向け、自治組織に対する財政的支援および助成を行います。

(3) 安全安心な庁舎の管理〔拡充〕

19,198 万円(拡充分 1,050 万円)

管財課

安全安心な庁舎の管理を図るとともに、老朽化した総和庁舎の耐震診断を実施します。

(4) 市公式ホームページの充実〔拡充〕

1,328 万円(拡充分 990 万円)

秘書課(広報室)

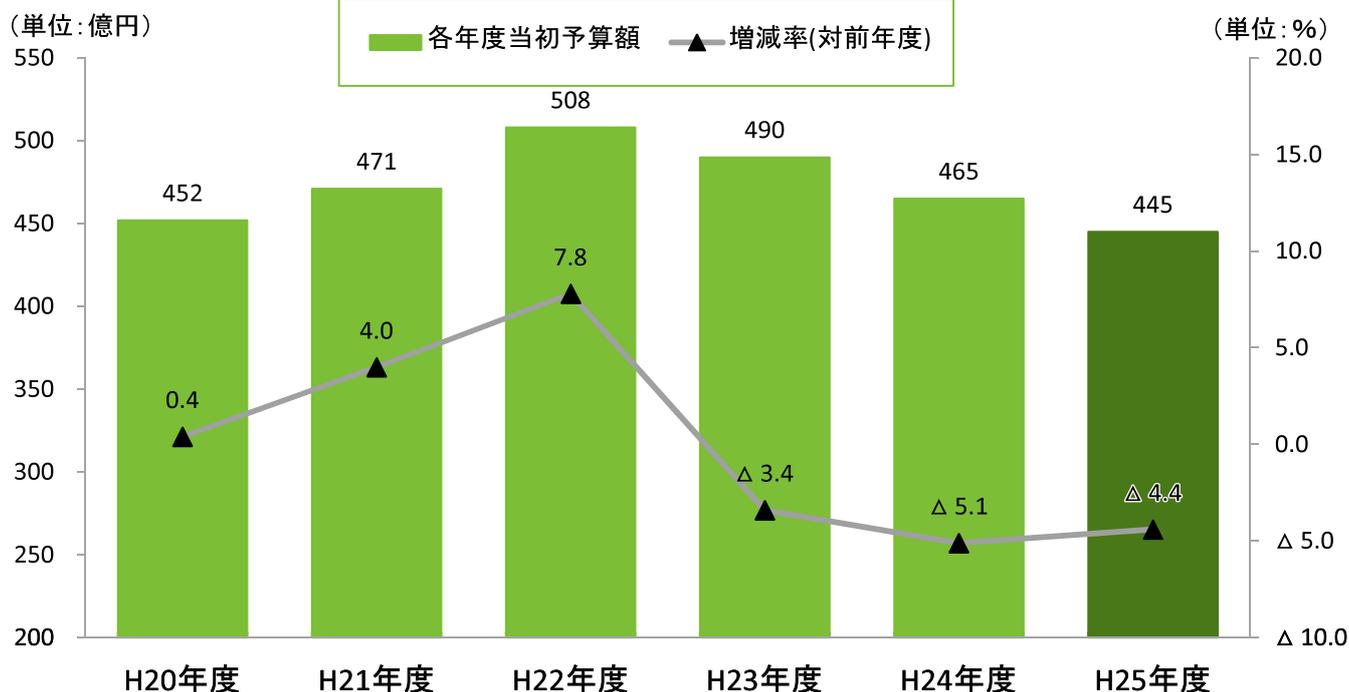
市公式ホームページの掲載内容の充実および迅速な情報の発信を行うため、コンテンツマネジメントシステム(CMS)を導入します。

会計別予算

会計名		平成25年度予算	平成24年度予算	比較	増減率(%)
一般会計		444億6000万円	465億1000万円	△20億5000万円	△4.4
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	160億2100万円	155億9250万円	+4億2850万円	+2.7
	国民健康保険（直診勘定）	7780万円	8080万円	△300万円	△3.7
	古河福祉の森診療所	1億9700万円	2億450万円	△750万円	△3.7
	後期高齢者医療	10億6340万円	10億400万円	+5940万円	+5.9
	介護保険（保険事業勘定）	79億800万円	75億円	+4億800万円	+5.4
	介護保険（介護サービス事業勘定）	6040万円	5920万円	+120万円	+2.0
	公共下水道事業	40億9700万円	38億7080万円	+2億2620万円	+5.8
	農業集落排水事業	7億5960万円	8億9570万円	△1億3610万円	△15.2
	ゴルフ場事業	1億1360万円	1億1360万円	±0円	±0.0
	古河駅東部土地区画整理事業	6億7420万円	11億3200万円	△4億5780万円	△40.4
	片田南西部土地区画整理事業	6億1230万円	2億8880万円	+3億2350万円	+112.0
	公共用地先行取得	2億50万円	1億6370万円	+3680万円	+22.5
	特別会計 合計	317億8480万円	309億560万円	+8億7920万円	+2.8
	一般会計・特別会計 合計		762億4480万円	774億1560万円	△11億7080万円
水道会計	収益的収入	25億342万円	24億3409万円	+6933万円	+2.8
	収益的支出	23億3425万円	21億6963万円	+1億6462万円	+7.6
	資本的収入	9億2944万円	8億3555万円	+9389万円	+11.2
	資本的支出	19億2346万円	19億5474万円	△3128万円	△1.6

※ 水道事業会計において、資本的支出額に対して資本的収入額が不足する額9億9402万円は当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額5691万円、過年度分損益勘定留保資金9億3711万円で補てんします。

一般会計予算の推移

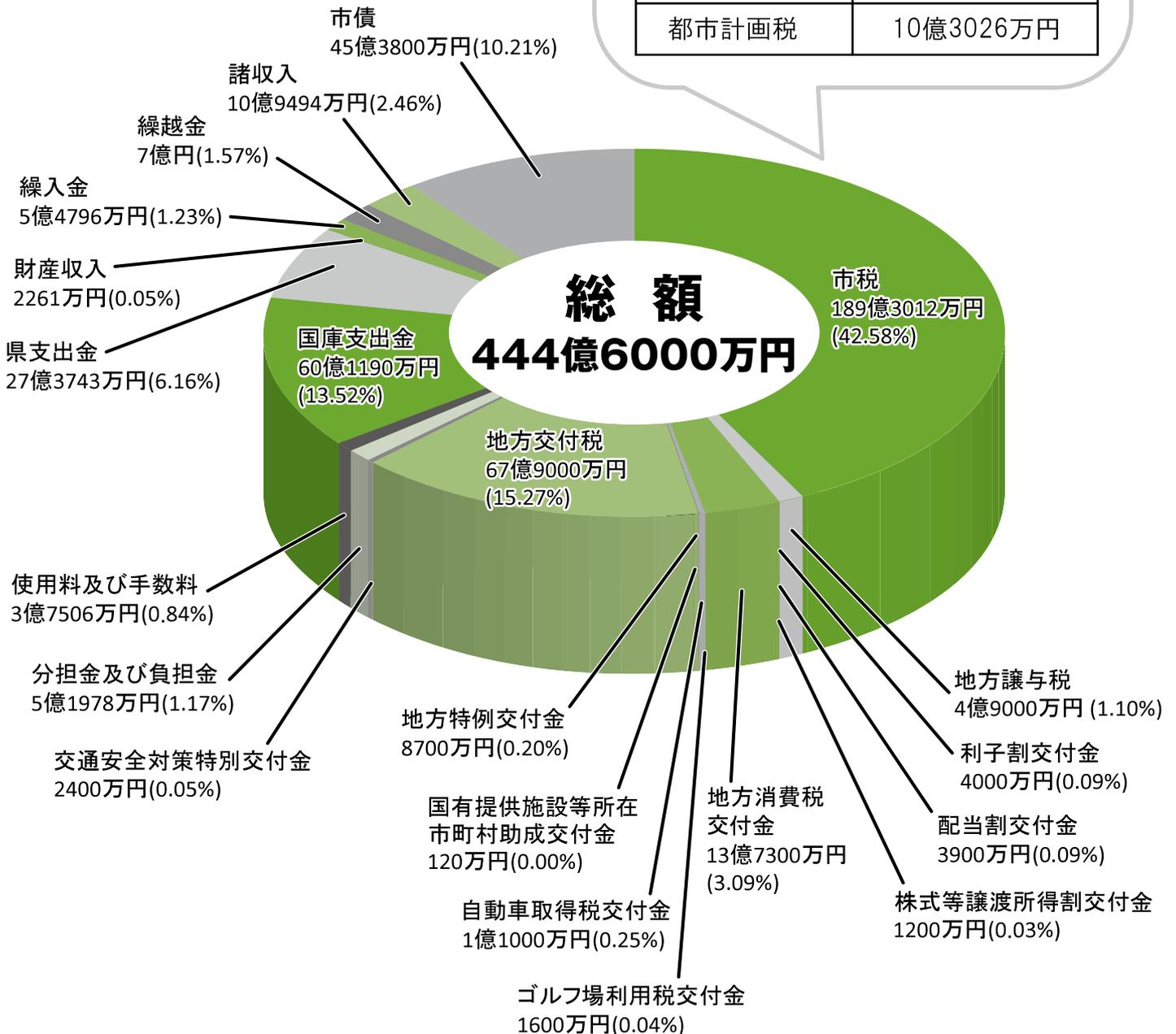


平成25年度 一般会計

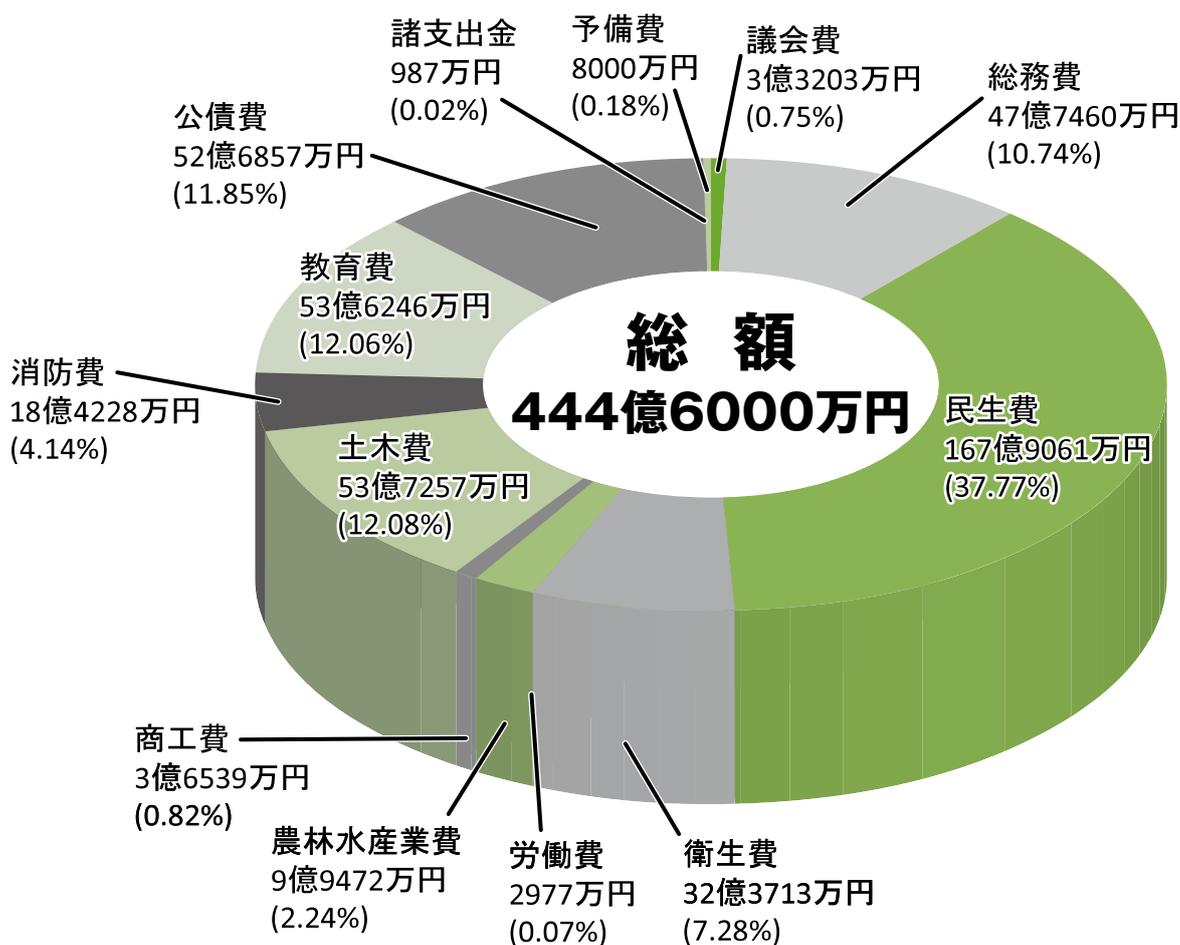
歳入 総額 444億6000万円

市税の主な内訳

税 目	歳入予算額
個人市民税	69億4091万円
法人市民税	18億 684万円
固定資産税	76億7013万円
軽自動車税	2億7031万円
たばこ税	12億1167万円
都市計画税	10億3026万円



歳出 総額 444億6000万円



主な歳出について

議会費

議会活動のための経費

総務費

住民登録や交通安全対策、選挙などのための経費

民生費

保育園や障がい者、高齢者などの福祉のための経費

衛生費

ごみ処理や病気の予防などのための経費

農林水産業費

農業振興のための経費

商工費

商業・工業・観光振興のための経費

土木費

道路や河川、公園などの整備や維持管理のための経費

消防費

消防や救急活動、防災関係のための経費

教育費

小中学校や公民館などの運営のための経費

公債費

市債(借入金)の返済のための経費

※ 諸支出金、公債費以外の経費については、それぞれ職員人件費が含まれています。

市の貯金

平成24年度末(見込)

57億4027万円

(市民1人あたり 3万9246円)

年 度	市民1人あたりの基金残高
平成20年度	1万5144円
平成21年度	3万5238円
平成22年度	3万9538円
平成23年度	3万4639円
平成24年度末(見込)	3万9246円

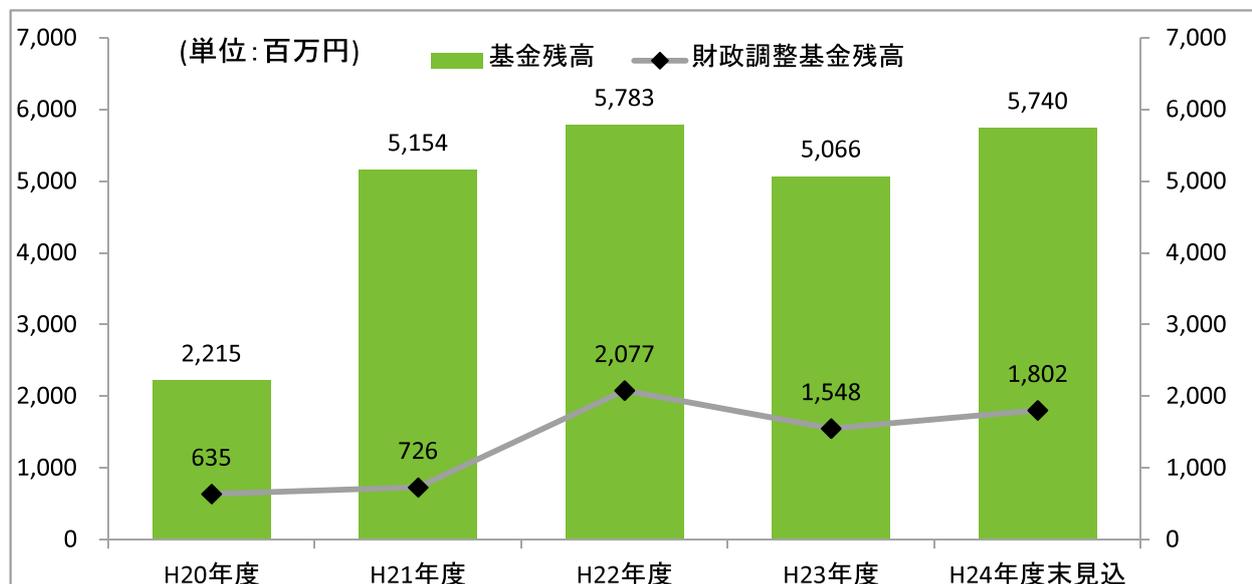
※ 平成25年3月1日現在の古河市の人口
14万6263人 で計算しています。

各基金の残高

基金名	平成24年度末見込
財政調整基金	18億 238万円
減債基金	7億2927万円
公共施設整備基金	1億4319万円
ふるさと振興基金	3023万円
新駅設置準備基金	3950万円
教育振興基金	964万円
地域福祉基金	3291万円
自治振興基金	8億9198万円
合併特例振興基金	17億1140万円
企業立地調整基金	2億9275万円
その他	5702万円
合 計	57億4027万円



基金残高の推移



市の借金

平成25年度末(見込)

965億7749万円

(市民1人あたり 約 66万円)

(市民1人あたりの国負担を除く実質負担 約 26万円)



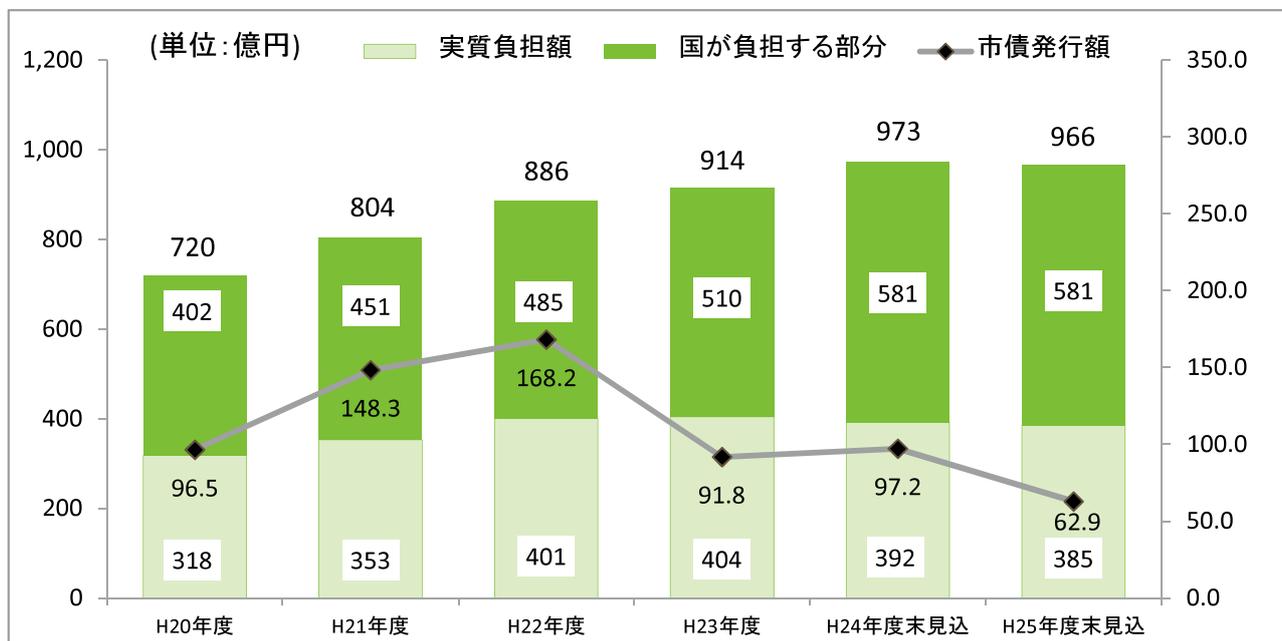
※ 平成25年3月1日現在の古河市の人口
14万6263人 で計算しています。



会計別市債残高

会計区分		平成23年度	平成24年度末見込	平成25年度末見込
一般会計		536億9061万円	603億1548万円	604億5835万円
特別会計	公共下水道事業	206億3290万円	195億9880万円	187億7605万円
	農業集落排水事業	52億7132万円	52億6862万円	51億7501万円
	古河駅東部土地区画整理事業	12億2425万円	17億2062万円	17億 555万円
	片田南西部土地区画整理事業	6億3357万円	7億9526万円	8億4385万円
	公共用地先行取得	14億1252万円	12億6358万円	10億7607万円
一般会計・特別会計 合計		828億6517万円	889億6236万円	880億3488万円
水道事業会計		85億5475万円	83億8606万円	85億4261万円
合 計		914億1992万円	973億4842万円	965億7749万円

市債残高の推移



財政の健全性

1. 実質公債費比率

実質公債費比率とは

実質的な公債費(市債の返済)が、地方公共団体の財政に及ぼす負担を表す指標です。

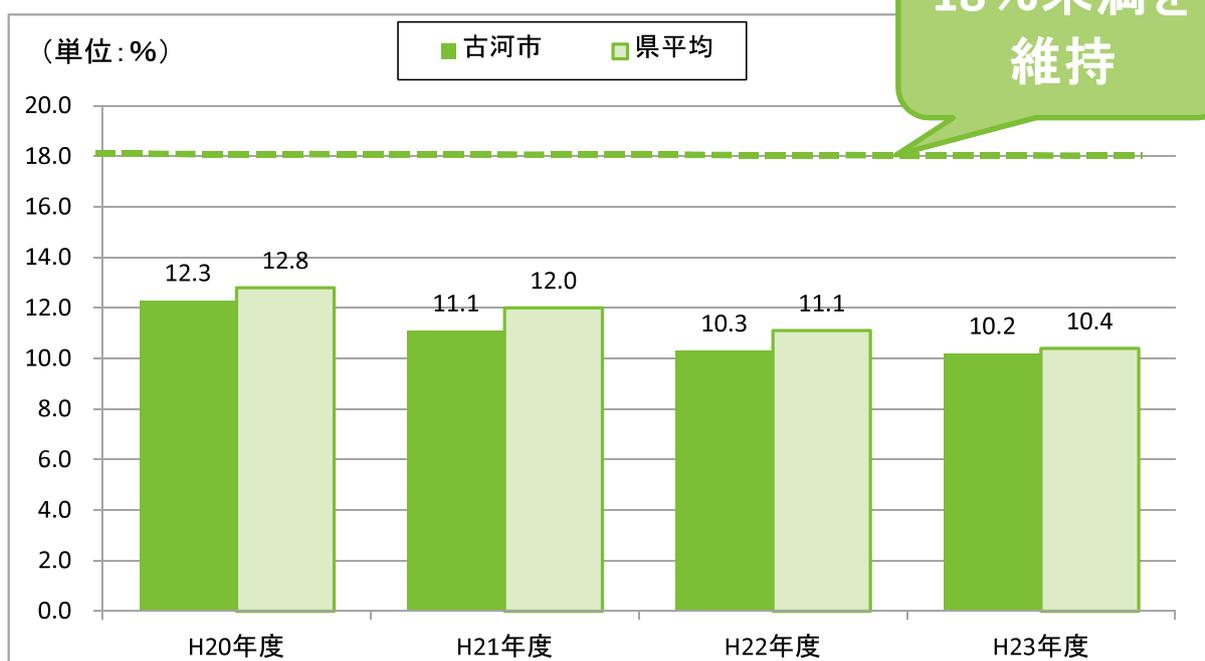
3カ年平均の数値で表します。



○ 古河市は「10.2%」であり、早期健全化団体とされる「25% (注意)」を大きく下回っています。

○ 市債発行に際しては、県知事の「同意」から「許可」に変更となる基準である「18%未満」を維持するよう努めます。

実質公債費比率の推移



2. 将来負担比率

将来負担比率とは

市などの自治体が、将来支払う可能性のある負債の一般会計等に対する比率です。

350%以上

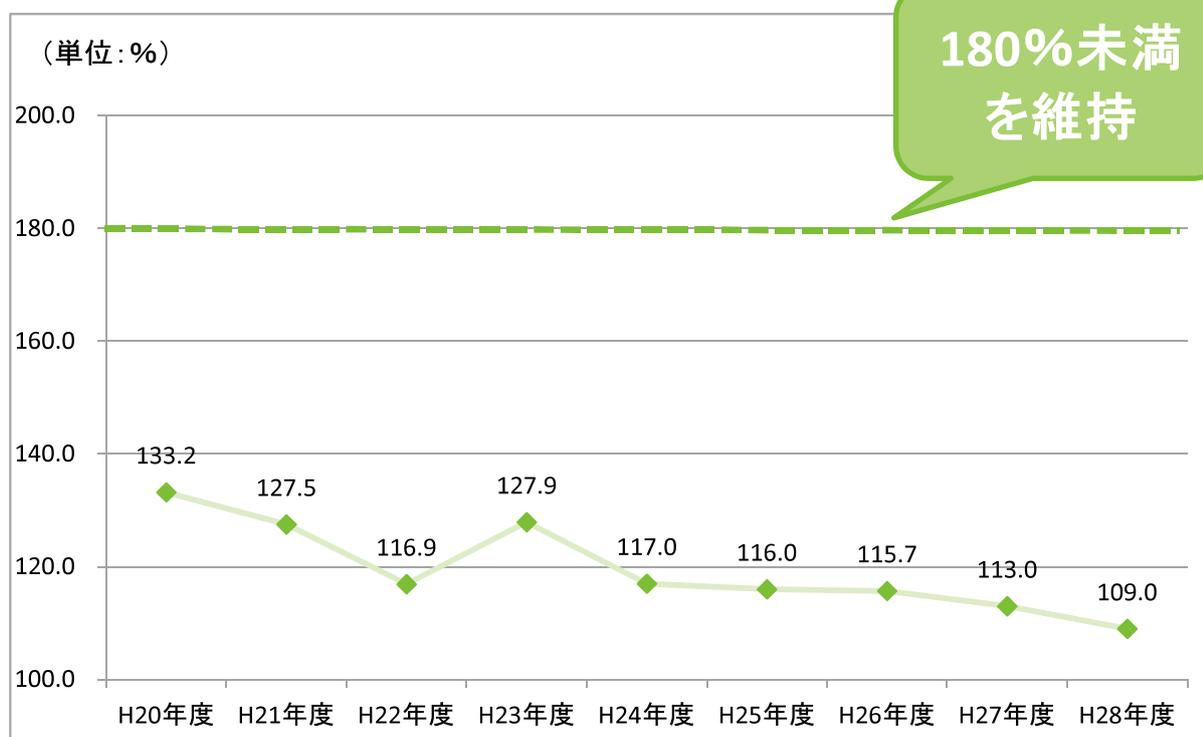
注意

早期健全化団体

○ 古河市は、平成24年度末(見込み)において「117.0%」であり、早期健全化団体とされる「350%(注意)」を大きく下回っています。

○ 第2次古河市行政改革大綱で示す「早期健全化ライン350%の約2分の1(180%以内)」を維持することとしています。

将来負担比率の推移（試算）



※ 平成24年度以降は、一定の要件に基づき試算しています。

予算を「家計」にたとえると?

一般会計の当初予算(444億6000万円)を年間の収入が500万円の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。諸手当のうち、地方交付税はどの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。



こが家・1ヵ月の家計簿

《収入》

《支出》

給与	39万7100円
・うち基本給 (市税などの自主財源)	(19万7400円)
・うち諸手当 (地方交付税、国・県支出金など)	(19万9700円)
銀行からの借入 (市債)	1万7600円
貸したお金の返済金 (貸付金元利収入など)	1300円
計	41万6000円

家族の医療費 (扶助費)	9万3600円
ローンの返済 (公債費)	4万9300円
食費 (人件費)	7万4200円
光熱費や通信費など (物件費など)	5万8700円
家・車・家電製品等の修理、買換え (維持補修費、普通建設事業費)	3万2400円
家族への仕送り (繰出金、補助費)	10万7000円
貯金や友人などに貸すお金 (積立金、貸付金)	800円
計	41万6000円



家族の医療費(生活保護費などの扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。この比率が高いと、家計にあまり余裕がないことになります。ちなみに古河市の歳出総額に占める義務的経費の割合は52.2%です。